

第五十回帝國議會 院議 預金部預金法案(政府)外一件

預金部預金法案(政府提出)、大藏省預金部特別會計法案(政府提出)、臨時國庫證券收入金特別會計法案(政府提出)、酒類專賣ニ關スル建議案(湯淺凡平君提出)

委員會會議錄(速記)第七回

會議

大正十四年二月七日(土曜日)午前十一時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 武内 作平君

理事 淺賀長兵衛君

理事 若尾幾太郎君

石黒大次郎君 井本 常作君

加藤 鯛一君 山田 助作君

長峯 與一君 折原已一郎君

中村 嘉壽君 筒井民次郎君

石原正太郎君 高山 長幸君

山崎達之輔君 木暮 正一君

高橋熊次郎君 小川郷太郎君

西村丹治郎君

同月六日委員本多貞次郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ筒井民次郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

今七日委員重松重治君服部英明君辭任ニ付其ノ補闕トシテ井本常作君加藤鯛一君ヲ執レモ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官 早速 整爾君

大藏書記官 川越 丈雄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

預金部預金法案(政府提出)

大藏省預金部特別會計法案(政府提出)

出)

臨時國庫證券收入金特別會計法廢止

法律案(政府提出)

酒類專賣ニ關スル建議案(湯淺凡平君提出)

○武内委員長 開會致シマス

○若尾委員 政府提出預金部預金法案、政府提出大藏省預金部特別會計法案、此二案ヲ議事進行上一括シテ討論

ノ議題ニ付セラレンコトヲ希望致シマス

○武内委員長 御異存ハアリマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○武内委員長 二案ヲ一括シテ議題ト致シマス

○若尾委員 本案ニ付キマシテハ一括シテ案ト申シマス——本案ニ付キマシ

テハ本員ハ政府提出案ニ賛成スル者デアリマス、第一回ニ開キマシタヨリ數

次ニ互ツテ委員會ガ開カレマシテ、質問

應答ヲ重ネマシタ結果、微ニ入り細ヲ

盡シテ本案ヲ提出セラレタ趣意ニ付テ

モ、略々遺憾ナク諒解シタコトデアリ

マス、此事業資金等ノ運用方法ニ付キ

マシテハ、過去ニ於キマシテハ其當時

當時ノ時代ノ要求ニ伴レテ放資シテア

ル——運用サレタルモノト思ハレルノ

デアリマシテ、現政府ニ於キマシテハ

幸ニシテ期限ガ到來シテ、未收入ニナッ

テ居ルト云フヤウナモノヲ發見致シマ

セヌ、就テハ現政府ノ責任ハ明ニ遂行

シ得ルモノト認メラレマス、此資金運

用ニ付テハ、即チ現政府ハ將來ニ對シ

テ運用スルノ責任ヲ十分ニ持ツコト、

思ハレルノデアリマス、又此案ハ政府

ニ於テ今マデ大藏省内部ニ於テ任意ニ

運用セラレタルモノガ、之ヲ一般ニ公

開シマシテ、衆智ヲ集メテ内部ノ關係

ノミナラズ、衆目ノ注目下ニ此運用ヲ

爲サントスル將來ノ御計畫ノヤウデア

リマシテ、即チ政府ハ委員會ヲ設置シ

マシテ、諮問機關トシテ一般民間ノ衆智モ集メテ此機關ニ諮問シテ其嚮フ所ヲ定メラレルト云フヤウナ事ハ、洵ニ或ル惡口カラ言ヒマス、伏魔殿ノヤウナ工合ニサレマシタモノガ、茲ニ公開セラレマシテ、光明ニ接スルト云フヤウナ頗ル進歩シタル趣意ト思フノデアリマス、此故ニ私共ハ更ニ政府ノ提案ノ趣旨ヲ力強カラシメル爲ニ、希望事項ヲ附シテ本案ヲ可決セラレンコトヲ希望スルノデアリマス、希望事項トシテ一、政府ハ内外事業資金ノ整理ニ努メ運用資金ノ充實ヲ圖ルベシニ、政府ハ地方資金融通ノ途ヲ擴張シ以テ產業ノ開發並社會事業ノ助成ニ資スベシ三、政府ハ運用委員會ノ機能ヲ發揮セシメンガ爲委員ノ選任ニ付特ニ留意スベシ、以上終リ

○淺賀委員 私ハ只今議題トナッテ居ル二案ニ關シマシテ賛成ノ意ヲ表スル一人デアリマス、若尾君ヨリ先ヅ賛成ノ意見ヲ述べラレ、且ツ希望條項ニ關シテ縷々御話ガアリマシタ、此二案ヲ能ク考ヘテ見マスルト、如何ニ現内閣ハ公平デアアルカ公正デアアルカト云フコトヲ、自ラ表白シタルモノナリト思フノデアリマス、過去ニ於キマシテハ預金部ノ金ノ運用ニ付キマシテハ、政界ニ於テハ一種ノ伏魔殿ト見テ居ラレタノデアリマス、吾々モ常ニ疑惑ノ眼ヲ以テ見テ居ッタノデアリマス、然ルニ今同政府ハ自ラ懷ヲ開放シテ、サウシテ公平ナル此二案ヲ出シテ來ラレタコトニ付テハ、先ヅ敬意ヲ表スル者デアリマス、唯、數日來度々委員會ガ開カレ、其席上ニ於テ過去ニ於ケル此資金ノ運用ニ關シテノ色々ノ内容ヲ調査致シテ見マスルト云フト、吾々ノ方ニ於テハ相當ニ整理ヲ爲スベキ餘地アリ、相當ニ整理ヲ爲シタナラバ、即チ預金部預金ノ運用ノ充實ヲ圖ルコトガ出來ルト云フコトヲ感得致シタノデアリマス、ソレ故ニ只今ノ希望條項ノ第一點ハソレヲ含メタノデアリマス、第二ノ希望條項ハ、即チ地方資金融通ノ途ヲ擴張スベシト云フ此地方資金ノ中ニハ、普通低利資金トカ、或ハ社會事業資金トカ、或ハ震災復舊資金ノ如キガ包含致シテ

居リマス、中ニモ此社會事業資金ニ關シテハ、社會事業ノ助成上餘程考慮シテ貰ヒタイト思フノデアリマス、又普通低利資金ハ多ク農業者或ハ商工業者ニ對シテ融通セラレテ居リマスルガ、從來ハ此點ニ關シテ果シテ公正デアッタカ否カト云フコトハ、吾々モ多少疑懼ノ念ヲ持ッテ居ル者デアリマス、故ニ是ハ産業ノ開發ト云フ見地カラ見マシテ、將來ハ相當ナル考慮ヲ拂ッテ貰ヒタイト云フノガ即チ第二ノ希望條項ニナツタノデアリマス、第三ノ希望條項ハ、此法案ノ實際ノ効果ヲ舉ゲル上ニ於テハ、諮問機關デハアリマスルガ、預金部資金運用委員會ノ此機關ガ、最モ中樞ヲ成スモノナリト思フノデアリマス、此機關ノ機能ノ發揮如何ハ、勿論其委員ノ選任ニ在ルノデアリマス、此委員ノ選任ニ付テハ學識經驗ノ有ル者ノ中ヨリハ勿論、各階級ヲ通ジテ代表的ノ人ヲ選任スルト云フコトガ、最モ此運用委員會ヲシテ權威アルモノナラシムルコトガ出來ルト吾々ハ見テ居ルノデアリマス、此意味ニ於テ第三希望條項ニ含メテ居ルノデアリマス、以上ノ希望條項ノ三點ニ關スル吾々ノ眞意ヲ述ベテ、茲ニ三條項ヲ附シテ原案ニ賛成スル者デアリマス

○高橋委員 私モ此原案ニ賛成ノ意ヲ表スル者デアリマス、洵ニ從來ハ此預金部ナルモノガ、何レニ在ルノカ所在スラモ不明デアルト云フヤウナ疑ヲ起

シ、隨テ運用上ニ付テハ非難攻撃モアツタノデアリマスルガ、ソレ等ノ疑雲ト云フモノハ此法案ニ依ッテ一掃サレルト考ヘルノデアリマス、而シテ又此希望條件ヲ附スルト云フコトニ付テ大賛成デアリマシテ、特ニ此第二項ニ掲ゲテアル所ノ地方資金融通ノ途ヲ擴張致シマシテ、産業ノ開發ニ資シ、一ハ社會事業ノ助成ニ努メシムルト云フコトハ、至極尤ノ事デアアルノデアリマス、從來ハソレノ周到ナル注意ヲ以テ農村方面ニ地方ノ種々ナル事業ノ方面ニ向ッテ放資サレタノデアリマス、併ナガラ其額ハ洵ニ少イノデアリマシテ、動モスルト地方財政ノ緩和ニ努メンガ爲メ公債ノ肩替リヲ致シ、其結果トシテ政府ハ公債ヲ募集シナイト稱シナガラ、一面ニ於テ零細ナル資金ヲ以テ公債ヲ募集シタト同様ナル結果ヲ來サシメテ、動モスルト農村ノ金融ヲ壓迫スルト云フヤウナ形ニナツテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスルカラシテ、此方面ヲ特ニ政府ガ注意サレテ、而シテ農村ノ金融ノ圓滿ニ、圓滿ニ運行スルヤウニ努メテ戴キタイト云フコトニ於テ、私ハ大ニ賛意ヲ表スル次第デアリマス、而シテ此第三ニ掲ゲラレタル委員會ノ委員ノ選任ノコトデアリマスルガ、學識經驗アル者ト云フ中ニハ、從來ノ例ニ依リマスルト學識ニ於テ、經驗ニ於テ、其人格ニ於テ、國民ノ代表的人物トシテハ頗ル當ヲ得テ居ルノデアリ

マス、併ナガラ斯ノ如キ堂々タル人物ノミガ國民ヲ代表スルト云フ譯デハナイノデアリマス、動トモスルト云フト是等ノ人達ハ資產階級ノ代表者デアッテ、庶民階級ノ代表者デナイト云フコトハ從來ノ例ニナツテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスルカラシテ、斯ノ如キ意味ニ於テ置カレタル委員會ト云フヤウナモノハ、一部ノ特殊階級ト言ヘバ語弊ガアリマスガ、資產階級ノ代表者ノミナラズ、殊ニ是ハ庶民階級ノ代表ト目セラルベキヤウナ人物ヲ相當ニ加ヘラレルコトハ、必要デアラウト考ヘルノデアリマス、斯ウ云フコトニ爲シマスレバ、始メテ吾々ノ唱ヘテ居ル所ノ地方資金ノ運用ト云フヤウナ事ニ付テ、十分ナル効果が擧ゲ得ラレルダラウト思フノデアリマス、然ラズシテ從來ノヤウナ例ニ依リマシテ、唯、人材ヲ網羅スルト云フヤウナコトニナリマスレバ、所謂靴ヲ隔テ、痒イ所ヲ搔クト云フヤウナ思ガアリマシテ、此庶民階級ノ利害ト云フコトガ、十分ニ代表セラレナイ憾ガアルノデアリマス、是等ノ點ニ付テ希望條件トシテ此條項ヲ加ヘラレタト云フコトハ、洵ニ結構ナル事ト存ジマス、第一項ハ無論ノ事デアリマスルガ、是等ノ三項ヲ希望條件トシテ附セラレタト云フコトハ洵ニ當ヲ得タモノト思ヒマシテ、私ハ原案ニ賛成スルト同時ニ、此希望條件ニ付テ滿腔ノ誠意ヲ以テ賛成ノ意ヲ表スル

者デアリマス ○石原委員 本案ニ付キマシテハ、從來此預金部ハ先刻若尾君カラモ申サレタ通り、國民特ニ財界ノ一部カラハ、伏魔殿デアアルカノヤウニ見ラレテ居ッタノデ、我黨ノ政務調査會デモ是ガ改造ニ付テハ、十分其必要ヲ感ジテ居ッタノデアリマス、洵ニ政府今回ノ法案ノ御提出ハ、機宜ニ適シタルモノトシテ賛成スルニ躊躇致シマセヌ、ノミナラズ本案ヲ議スルニ當リマシテ、政府委員ガ色々詳細ナル材料ヲ御提供下サレ、特ニ早速政府委員ニ於カセラレテハ、懇切ナル御説明ヲ連日ニ互ッテ爲シ下サレタコトモ之ヲ多謝スル者デアリマス、而シテ此兩案ノ中、特別會計法案ハ預金法案ニ附隨シタ案デアリマスルガ、此兩案ノ根本ハ此預金部預金法案ニ在ルノデアリマス、サウシテ此預金部預金法案ハ僅ニ五箇條ヨリ成リ簡單ナル法案デアリマシテ、サウシテ此法案ノ最モ骨子トスル所ハ第四條ノ運用委員會ヲ設置セラレタ點デアリマス、實ハ私共ト致シマシテハ、此運用委員會ヲ完全ニ働ラカス上ニ於キマシテ極メテ必要ナル事項デアリマシテ、是等ノ組織、權限、其他運用ノ方法ヲ此預金法案ノ中ニ加ヘラレナカッタコトヲ、稍、遺憾トスルノデアリマス、併ナガラ此組織、權限、運用ノ方法ニ付キマシテハ、規則ヲ追テ勅令ヲ以テ之ヲ發布スルト云フノデアリマシテ、其勅令ノ未

定稿ノ草案モ配付下サツタノデアリマスルガ、其草案ヲ通覽致シマシテ、尙ホ其組織、權限、方法ニ付キマシテハ不完全ト申ス程デアリマセヌガ、運用委員會ノ機能ヲ完全ニ發揮スル點ニ付キマシテ、稍々不安ノ箇所ノ二三アルコトモ洵ニ遺憾トスルノデアリマス、其點ニ付キマシテハ高山君其他カラ先般質問應答ガアリマシテ、略々皆御承知ノ通りデアリマス、尙ホ本案ヲ賛成致シマスルニ付キマシテ、先程若尾君カラ御希望トシテ三箇ノ希望條件ヲ出サレマシタガ、之ニ付キマシテハ私共モ大體ニ於テ賛成デアリマシテ、極メテ適切ナル希望條件ト認メルノデアリマス、唯、從來斯様ナ案ヲ議スルニ當リマシテ、希望條件若クハ附帶條件ヲ附ケマシテ、多クノ場合ニ於テ後ニナツテ政府ガソレニ餘リ重キヲ措カレナイト云フコトガ、事實ノ上ニ於テ少カラヌノデアリマス、ソレ故ニ成ベク此希望條件ヲ強ク具體的ノモノニシテ置クト云フコトガ、其希望條件ヲ實現セシムル上ニ於テ極メテ意味有ル事と思フノデアリマス、左様ナ意味ニ於キマシテ、先刻若尾君カラ御出シニナツタ三個ノ希望條件中、第一ノ「政府ハ内外事業資金ノ整理ニ努メ運用資金ノ充實ヲ圖ルヘシ」是ハ全然賛成デアリマス、先般來政府委員ハ、内外事業資金ハ現在ノ所不確實ノモノハ無イカノヤウニ御答辯ニナツテ居リマスルガ、本員ノ見マ

スル所デハ、可ナリ不確實ナモノモ多イコトヲ認メルノデアリマス、大ニ整理ヲ要スルモノアリト認メルノデアリマス、又不確實デナイニ致シマシテモ、是ガ整理回收ヲシテ、他ノ方面ノ緊急ナル運用資金ノ充實ヲ圖ルト云フコトモ、極メテ必要ナノデアリマス、ソレ故ニ此希望條件ハ極メテ適切ナルモノト致シマシテ、賛成ヲスルニ躊躇致シマセヌ、第二ノ「政府ハ地方資金融通ノ途ヲ擴張シ以テ産業ノ開發並ニ社會事業ノ助成ニ資スヘシ」此案モ希望條件ノ案ト致シマシテハ、其モルニ何等異議ガ無イノデアリマス、大ニ賛成スル次第デアリマスルガ、從來此地方資金ガ比較的少クシテ、預金部ノ資金ガ大部分中央ノ大都市ニ使ハレテ居タト云フコトハ、洵ニ遺憾トスルノデアリマシテ、是ハドウシテモ此預金部法案ノ現レタ今後ニ於テハ、改善シナクテハナラナイ唯一ノ事デアアルノデアリマス、就キマシテハ單ニ「地方資金融通ノ途ヲ擴張シ」ト云フヤウニ漠然ト申シマスルヨリハ、今少シドノ程度ニ地方資金ヲ充實シナクチャイカスト云フコトヲ、具體的ニ示シテ置クトガ必要デナイイカト思フノデアリマス、其程度ニ付キマシテ預金部預金約十六億中、郵便貯金ハ約十一億五千萬アルノデアリマスルガ、其郵便貯金ハ約半額ハ大都市デアリマスルガ、約半額ハ地方ノ零細ナ資金ガ集テソレニ達シテ居ル

モノト認メルノデアリマス、其意味ニ於キマシテ、成ベク地方資金ハ多イ方ガ宜イデスガ、其限度ヲ少クトモ郵便貯金ノ半額ヲ地方資金ノ方ニ充當シテ貰ヒタイト云フ意味ヲ、モウ少シ此第二ニ現スコトガ必要ダト思ヒマシテ、此第二ノ希望條件ヲ斯様ニ修正致シタイト思フノデアリマス、「預金部預金トシテ受入レタル郵便貯金ノ總額ノ二分ノ一ヲ下ラザル金額ヲ地方資金ノ運用ニ充當スヘシ」ト斯様ニ具體的ニシタイト思フノデアリマス、第三ノ希望條件ニ提出サレマシタ「政府ハ運用委員會ノ機能ヲ發揮セシメンカ爲委員ノ選任ニ付特ニ留意スヘシ」是モ抽象的ノ言葉トシテハ是デ宜イノデアリマスルガ、斯様ナコトデハ効能ト云フトオカシイデスガ、利目ガ少シ薄イヤウニ思ハレマスノデ、此字句モ斯様ニ修正シタイト思フノデアリマス、今高橋君カラ述ベラレタ意味モ十分合メテ斯様ニ修正シタイト思フノデアリマス「預金部資金運用委員會委員中ニ農村代表者若干名ヲ加フヘシ」斯様ニ修正致シタイト思フノデアリマス、尙ホ後カラ申上ゲマシタ此二箇ノ異ナル希望條件ノ詳細ナル説明ニ付キマシテハ、若クハ討論ニ付キマシテハ、追テ本會議ニ於テ之ヲ述ベタイコトヲ茲ニ申シテ置キマス、以上申述ベテ本案ヲ賛成致シマス

法案ニ賛成ヲ致シマスガ、併シ丁度只今石原君ノ述ベラレマシタヤウナ風デ、私ハ此法文ノ中ヘ運用ノ大方針ヲ規定スル方ガ然ルベキデアッタと思フノデアリマシテ、其意味デ過日來質問モシタコトガアリマシタ、是ハ他ノ法律ニモ其類例ガナイノデアアリマセヌ、放資スベキ方法ト云フコトヲ法律ニ記載シタモノモアルノデアリマスカラ、サウ云フ法律ニ準ジテ此法律モ大體ニ其放資ノ方針ヲ示スベキモノデアリヤウニ思ウタノデアリマス、ソレガ即チ今日此大藏省預金部ガ世間ノ批評ノ標目トナツテ居タモノヲ、此際全ク改造シテ行クト云フ實ヲ現スコトニナルト思ッタノデアリマスガ、併シ法律案ガ之ヲ勅令ニ讓テ居ラレルノデアリマスカラシテ、私ハ其點ハ此處デ爭ハヌコトニ致シマス、大體ニ法律案ハ賛成ヲ致シマス、併ナガラ其趣旨ハ矢張此勅令案ニモ書イテ戴キタイト思フノデアリマス、其意味ヲ此希望條件ノ形ニ於テ表シテ置キタイト思フノデアリマス、只今希望條件ニ付キマシテ、政友會、憲政會、ソレカラ政友本黨ノ方カラ説ガ出マシタ、其趣旨ニ於キマシテ私大體賛成致シマス、殊ニ第一「政府ハ内外事業資金ノ整理ニ努メ運用資金ノ充實ヲ圖ルヘシ」是ハ私モ過日來委員會デ爭ツテ居ルノデアリマシテ、其趣旨ヲ酌取ラレタ茲ニ斯ウ云フ案文ガ出タノデアリマスカラ、私ハ是以上注文ス

ル所ハアリマセヌ、此注文ニ付キマシ
テハ同意シ第二ノ「政府ハ地方資金融
通ノ途ヲ擴張シ産業ノ開發並社會事業
ノ助成ニ資スヘシ」此希望條件ハ趣旨
ニ於テハ結構ナヤウデアリマスケレ
ドモ、尙ホ不十分デアルト思ヒマス、
而シテ私ノ始終爭ツテ居リマスノハ農
村ニ融通スベキ資金ガ、相當ニ現在ヨ
リハ多クナラナケレバナラヌ、現在ハ
少キニ過ギテ居ルト認メマス、是ハ私
一箇ノ考デハナクシテ世間ノ輿論デア
ルト認メマスガ、其保證ヲ與ヘタイト
私ハ論ジテ居ルデアリマスガ、唯、斯
ウ云フ風ノ希望ダケデハ其保證ハ得ラ
レヌト思ヒマス、成程地方資金融通ノ
途ヲ擴張シ、ト云フコトニナツテ居ルカ
ラ、農村ニモ行クヤウデアリマス、ケレ
ドモ其次ニ「産業ノ開發並社會事業ノ
助成」ト云フコトガ謳ツテアルノデアリ
マシテ、此「産業ノ開發」ノ中ニ農村モ
アルデアリマセウケレドモ、商工業ノ
盛ンナ都會地ニ行ク金ガ矢張多クテ此
資本家ガ力ヲ持ツ、只今高橋君カラ
斯
ウ云フ御話ガアリマシタガ、庶民階級
ハ資本階級ヨリ力ヲ持タヌヤウデア
カラ、自然資本階級ノ方ノ都會地ノ方
ニ此地方資金ガ多ク行クヤウデハ、此
趣旨ヲ明ニスルコトハ出来マセヌカラ
シテ、矢張農村ノ方ニ金ガ十分融通セ
ラ
レルト云フコトヲ明ニシナケレバナラ
ヌト思ヒマス、其意味ニ於キマシテ私
ハ石原君ノ御提議ニナツタ希望條件ニ

賛成致シマス、第三ハ運用委員會ノコ
トデアリマスガ、是モ大體賛成デア
マス、ケレドモ昨日モ簡易生命保險積
立金運用委員會ニ付テ承ツタ所ニ依
ル
ト、ア、云フ社會政策的ノ運用ヲナス
ベキ所ニモ拘ラズ、其人ハト云ヘバ都
會ニ居ラレル所ノ學者ト、ソレカラ特
權銀行ノ總裁ト云フ者デアリマス、サ
ウ云フ風ニナリマシテハ動モスレバ地
方資金トシテ此農村振興ノ爲ニ金ヲ融
通スルト云フコトハ、兎モスレバ十分
ニ圖リ得ヌト思ヒマス、ソレデアリマ
スカラソコニ保證ヲ與ヘルコト、シテ
「政府ハ運用委員會ノ機能ヲ發揮セン
カ爲委員ノ選任ニ付特ニ留意スヘシ」
是ハ宜シイノデアリマスガ、モウ少
ソレニ附加ヘテ——少クトモ「地方農
村ヲ代表スル委員若干名ヲ加フヘシ」
ト云フコトヲ附加ヘテ置キタイト思
ヒ
マス、是ガ私ノ希望條件デアリマス、此
希望條件ヲ以テ本案ニ賛成致シマス
○木暮委員 私ハ本案ハ洵ニ進歩シタ
時代ノ要求ニ應ジタ案ダト思ヒマシ
テ、賛成致シマス、今マデ十五億某ト云
フ金額ニ對シマシテ、國民ノ代表デア
ル議會ハ僅ニ利殖金ノ收入デアルト
カ、利拂デアルトカ云フモノニ付テ其
監督權ヲ持ツノミデ、此十五億某ハ一
般
會計ノ金額ニモ匹敵スベキ龐大ナル金
額ガ、大藏大臣ノ任意ノ裁量ニ依ッテ左
右サレテ居ッタト云フコトガ、國民ヲシ
テ疑惑ヲ生ゼシメテ居ッタデアリマ

ス、之ヲ特別會計ヲ作ッテ——國民ノ共
有ノ預金部ノ資金ト云フモノニ對シ
テ、國民代表ノ議會ヲシテ監督サセル
ト云フコトニナリマシタノハ、時勢ノ
進歩デアルト考ヘテ賛成致シマス、希
望條件ニ付テハ若尾君ノ附シマシタ希
望條項ニ賛成シテ本案ヲ可決シタイト
思ヒマス、問題ニナリマシタ第二ノ「政
府ハ地方資金融通ノ途ヲ擴張シ産業ノ
開發並社會事業ノ助成ニ資スヘシ」ト
云フコトハ洵ニ結構デアルト思ヒマ
ス、ソレカラ此十五億某ト云フ資金ノ
大部分ガ産業開發ノ資金デアリナガ
ラ、動モスレバ救済資金ニ使用セラレ
テ居ル傾ガアルガ故ニ、此弊ヲ矯メテ、
産業ノ開發並社會事業ノ助成ニ此金
ヲ段々使ッテ行クト云フコトハ洵ニ結
構ト思ヒマス、只今二分ノ一ヲ地方ノ資
金ニ廻スト云フコトヲ確定的ニスル方
ガ宜イト云フコトデアリマシタガ、併
ナガラ是ハ都市ニ於ケル國民經濟ノ狀
態ニモ依ツタモノデアアル、ソレデ豫メ二
分ノ一ヲ地方ニ廻スト云フコトヲ限定
シテ置クト云フコトハ、一昨年ノ大震
火災ノ如キ事ガ突發シタ場合ニ、此資
金ノ融通ヲシテ非常ニ不圓滑ナラシメ
ルモノト考ヘマス、其意味カラ若尾君
ノ出シタ希望條項ガ頗ル穩當デアラウ
ト思ヒマス、特別議會ニ議決シタ復興
貯蓄債券法案ノ如キ一時的ノモノナラ
バ別デアアルガ、此預金法ハ一時的ノモ
ノデハナク、永ク國家百年ノ大計ヲ之

ニ加味シナケレバナラヌデアリマス
カラ、二分ノ一ト云フコトヲ限定スル
コトハ如何デアラウカト思ヒマス、ソ
レカラ第三ノ政府ハ運用委員會ノ機能
ヲ發揮セシメル爲ニ、委員ノ選任ニ付
テ、何カ具體的ニ改メテソレヲ入レヤ
ウ、云フコトデアリマスガ、是ハ第一
ノ條項ヲ御採用ニナレバ、當然相當ノ
留意ヲ此ニ爲サツテ、其目的ヲ達成ス
ルヤウニナサルデアラウト私ハ思ヒマ
ス
カラ、是ハ若尾君ノ附シマシタ希望條
項ガ至當デアラウト思ヒマス、此諸問
機關ニ付キマシテハ此間ノ本會議ニ於
テモ色々ナ議論モアリマシタケレド
モ、要スルニ是ハ形式ノ問題デナク、實
際ノ問題デアアルノデアリマス、第二ノ
「産業ノ開發並社會事業ノ助成ニ資ス
ヘシ」ト云フ目的ヲ達成スル爲ニ、其案
通りニ委員ヲ選任スルト云フコトニシ
タイト思ヒマス
○武内委員長 討論ヲ終結致シマシ
テ、採決スルノニ御異議アリマセヌカ
「異議ナシ」ト呼フ者アリ
○武内委員長 ソレデハ先ヅ預金部預
金法案、大藏省預金部特別會計法、是ハ
原案ヲ賛成スルニ御異議アリマセヌ
カ
「異議ナシ」ト呼フ者アリ
○武内委員長 ソレデハ滿場一致可決
致シマス、ソレカラ希望條項ガ小川君
カラト石原君カラト若尾君カラト三ツ
出テ居リマス

○淺賀委員 希望條項ニ付テノ採決デ
スガ、第一點ハ何レモ皆希望條項賛成
デアリマスカラ、二、三ニ付テ御採決ヲ
願ヒタイト思ヒマス

○武内委員長 若尾君提案ノ希望條
件、第一項「政府ハ内外事業資金ノ整理
ニ努メ運用資金ノ充實ヲ圖ルヘシ」是
ハ御異議アリマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○武内委員長 滿場御異議ナイヤウデ
アリマス、更ニ若尾君提案ノ第二項「政
府ハ地方資金融通ノ途ヲ擴張シ以テ産
業ノ開發並社會事業ノ助成ニ資スヘ
シ」斯ウ云フ希望條件ヲ附スルコトニ
御賛成ノ方ノ舉手ヲ願ヒマス

「賛成者 舉手」

○武内委員長 多數デアリマス、ソレ
カラ更ニ第三項「政府ハ運用委員會ノ
機能ヲ發揮セシメンカ爲メ委員ノ選任
ニ付特ニ留意スヘシ」斯ウ云フ希望條
件ヲ附スルコトニ御賛成ノ方ノ舉手ヲ
願ヒマス

「賛成者 舉手」

○武内委員長 多數デアリマス、次ニ
石原君ノ御提案ニナリマシタ希望條件
ニ御賛成ノ方ノ舉手ヲ願ヒマス

「賛成者 舉手」

○武内委員長 少數デアリマス、ソレ
カラ小川君ノ御提案ノ希望條件ニ御賛
成ノ方ノ舉手ヲ願ヒマス

「賛成者 舉手」

○武内委員長 少數デゴザイマス、更

ニ臨時國庫證券收入金特別會計法廢止
法律案ニ付テ討議ヲ開キマス

「原案賛成」ト呼フ者アリ

○石原委員 本案ハ洵ニ已ムヲ得ザル
モノデ、臨時國庫證券收入金特別會計
法ト云フモノヲ設ケテ、五億何千萬圓
ノ資金ヲ國庫證券ニ依ッテ募集シ、ソレ
ヲ露西亞ヘ其中三億圓、支那ニ約五千
萬圓、サウシテ其投資シタモノハ今日

マデ利息モ入ラナイデ、此預金部ノ特
別會計ガ約一億四千萬圓ノ缺損ヲ起シ
テ居ル、謂ハ、進退谷ッテ行詰ッタモノ
デアリマシテ、之ヲ一般會計ニ移シテ
救済ノ途ヲ講ズルヨリ洵ニ仕方ガナイ
事デアリマスルガ、此一億四千萬圓ノ
缺損トシテ、此特別會計ガ現レテ居ル
ノデアリマスガ、元本ノ露西亞ニ對ス
ル三億圓、支那ニ對スル五千萬圓、此三
億五千萬圓ノ元本モ大分怪シクナッテ
居ルノデ、懸テハ或ハ一般會計ニ於テ

國民ニ背負ハサセルヤウナコトニナリ
ハセヌカト心配スルノデアリマス、此
廢止法案ニハ洵ニ已ムヲ得ザルモノト
シテ賛成ヲ致シマスノデアリマス、此
機會ニ於キマシテ政府當局ニ於カレマ
シテハ斯様ナ案件ニ付キマシテハ將來
十分御留意アラントヲ、且又此三億
五千萬圓ノ回收ニ付キマシテハ、先般
外務省ノ政府委員カラ色々列國ノ協調
トカ何トカ云フコトヲ理由トシテ、放
テ置ク所ノ説明ヲ爲サツテ居リマシタ
ガ、是モ列國協調ナドト云フヤウナコ

トヲ餘リニ主ニセズニ、速ニ此三億五
千萬圓ノ兩國ニ對スル資金ヲ整理回收
ノ途ヲ講ゼラレンコトヲ此機會ニ於テ
希望シテ置キマス、サウシテ本案ニ賛
成致シマス

○武内委員長 採決致シマス、全員一
致原案ニ賛成スルモノト認メマス——
次ハ酒類專賣ニ關スル建議案ノ討議ヲ
開キマス

○淺賀委員 此酒類專賣ニ關スル建議
案ノ骨子ハ、速ニ其調査ヲセラレムコ
トヲ望ムト云フノデアリマスカラ、吾
吾ハ本案ニ賛成致シマス

○石原委員 酒類專賣ニ關スル此建議
案ニ付キマシテハ、提案者ノ説明モ極
メテ値アル御意見ト拜聽致シマシタ、
尙ホ政府ノ御考モ大正十四年度ニ於テ
稅制整理ヲヤラウト思ッテ居ルカラ、此
機會ニ於テ此專賣ニ關スル調査ヲシテ
見タイト云フ御答辯デアリマスカラ、
本案ニハ賛成ヲ致シマス

○武内委員長 滿場一致可決シタモノ
ト看做シマス——連日各員ニ於キマシ
テハ非常ニ御勉強下サツタコトヲ感謝
致シマス、殊ニ不行届デアッタニモ拘ラ
ズ、十分御審査下サイマシテ、殊ニ三案
トモ委員何レモ満足ヲ以テ可決スルト
云フコトニ際會シマシタコトハ、私ノ
非常ニ光榮トスル所デアリマス、閉會
ニ際シマシテ一言挨拶致シマス、是デ
委員會ヲ終了致シマス

午後零時二十三分散會

大正十四年二月八日印刷

大正十四年二月九日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社